

議会だより

本年もよろしくお願いたします。



健康づくり教室に通い

いつまでも元気!!

P12にて紹介



長引く物価上昇の負担軽減へ 2~3

一般質問 5~9

常任委員会活動報告 10~11

かがやくまちのひと 12

議会HP



一般会計補正予算等を可決

第4回 定例会

長引く物価上昇の負担軽減へ

定例会の あらまし

令和4年第4回定例会は12月6日・7日の2日間の日程で開催し、専決承認2件、補正予算4件を含む計12件が提出され、審議の結果、すべて原案どおり可決しました。また、議員発議2件、陳情・要望審査1件を行いました。

Pickup ① ふるさと納税寄附金2億円の大幅増 20,000万円



本年度は当初見込み額の2億円に対し、4月～10月の実績に基づき2億円を増額する。また、企業版ふるさと納税に370万円の寄附をいただいた。

Pickup ② 給食用食器等の購入 257万円

幼稚園給食の開始を機に古くなった食器等の入れ替えを行う。財源は、企業版ふるさと納税を充当して行う。



Pickup ③ 松くい虫被害木の伐倒駆除 399万円

黒根岬周辺、トモロ岬、クロスカントリーコース、ふれあいの森の被害木合計112本を伐採し、薬剤を散布して松くい虫の飛散を防ぐ。調査の結果、事業予算額に不足が生じるため増額する。



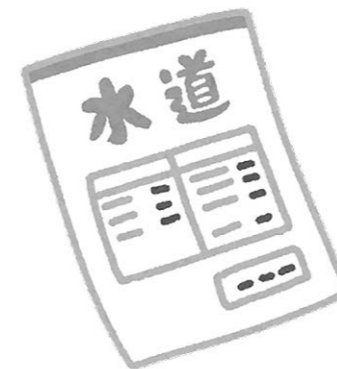
Pickup ④ 電気料金高騰による不足分 3,381万円



水道施設の動力費や学校施設などにおける、電気料金等の不足分の合計を追加補正する。

Pickup ⑤ 水道料金基本料免除 2,400万円

第4期分に引き続き、町水道給水契約者の水道料金第5期分基本料を免除する。



Pickup ⑥ 第2次物価高騰等緊急対策事業者支援 1,150万円

町内で事業を営む方を対象に、令和4年8月～11月の燃料を含む光熱費に対し1/2の額を給付する。(上限30万円)



第4回定例会 一般質問



一般質問

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をだし、所信の表明をもとめること。

- 楠山 節雄 議員
道路整備について
朝市等の波及効果について
ヤングケアラーの実態について
栗原 京子 議員
子どもによるまちづくりについて
藤井 廣明 議員
遊休農地等の再生について
アサギマダラの里づくりについて
西塚 孝男 議員
人口減少について
ふるさと納税について
鈴木 勉 議員
高齢者が安心して暮らせる町づくりについて
訪れたくなる魅力ある町づくりについて
内山 慎一 議員
商店街の空き店舗対策について
子育て支援の拠点づくりについて
笠井 政明 議員
子どもたちの教育環境の今後について
町有施設の今後の活用、管理について
山田 直志 議員
観光産業の磨き上げについて
農業経営基盤強化促進法、地球温暖化対策推進法の改正と町の対応について
景観上の懸念について
学校給食への支援、無償化について
須佐 衛 議員
町内産業の労働力不足解消に向けた取り組みについて
町の水道事業について



東伊豆町議会 YouTubeチャンネル



楠山 節雄 議員

Q 経済・観光対策としての道路整備は

A 観光振興や渋滞対策等、必要性は認識している



湯ヶ岡赤川線は県代
の事業で42%が整備済。
まずは全線完成を目指し、
接続道路については技術
的側面・費用対効果も念
頭に入れ、粘り強く取り
組んでいく。伊東市には
然るべき時期にしっかりと
説明し、連携を図って
いきたい。

湯ヶ岡赤川線延長に
よる伊東市への接続道路
推進は。
湯ヶ岡赤川線は県代
の事業で42%が整備済。
まずは全線完成を目指し、
接続道路については技術
的側面・費用対効果も念
頭に入れ、粘り強く取り
組んでいく。伊東市には
然るべき時期にしっかりと
説明し、連携を図って
いきたい。



伊東市境界近くまで整備中の湯ヶ岡赤川線

現在河津
町田中地区の
働きかけていきたい。

港の朝市や漁港直売所から
の波及効果は
所得向上、賑わい創出、交流
人口の増加等活性化に効果
ヤングケアラーの実態は
深刻化していないが今後も
注視していく

道路整備は観光地と
しての重要なおもてなし
と考えるが。
可能性や住民要望、
優先順位を検討し、整備
が必要となった場合はタ
イミングを見計らい推進
する。

道路整備については
前職の国土交通省副大臣
としての経験を町民も期
待しているのでは。
住民がどう考えるか
が重要。町外を含めた広
域の視点も合わせ、何を
したいか明確にした上で

第4回定例会の議案と各議員の賛否

○賛成 ×反対 ※議長は採決に加わらない

Table with columns for Proposal Name, Decision Result, and 12 Council Members (Kusayama Naoyuki, Kusayama Naoyuki, Kusayama Naoyuki, Kusayama Naoyuki, Kusayama Naoyuki, Kusayama Naoyuki, Kusayama Naoyuki, Kusayama Naoyuki, Kusayama Naoyuki, Kusayama Naoyuki, Kusayama Naoyuki, Kusayama Naoyuki).



意見書はこちらから

意見書については東伊豆町ホームページにて掲載
https://www.town.higashiizu.shizuoka.jp/
ホーム>町政・議会>陳情・要望>意見書・決議書

ここが聞きたい



にしづか たかお 議員
西塚 孝男

Q 子育てに関わる人たちの交流スペースを設けては

A 必要だと考える



Q 人口減少が進む中で現状の預かり保育等の子育て環境は。

A 東伊豆町における子育て環境については、東伊豆認定こども園では月々土の7時30分～18時30分、三宝保育園では平日7時15分～19時30分、祝日8時～18時まで預かり保育を実施している。

Q 町外で就業する母親が18時に仕事が終わわり、時間内に迎えに行くのは大変なのではないか。

A 稲取幼稚園の利活用については、幅広く住民からの意見も募りながら検討していきたい。



19時まで預かってもらえればお迎えに間に合う

Q 夜間預かりについてはファミリーサポート(有料・時間600円～700円)があるが、利用実績が無くその点は検証が必要。

A 子育てには様々な事があり、時には身近な人の力を借りたいこともあると思う。親戚など頼る人がいない人達のために、子育てに関わる全ての人が集い、交流できる場所を作る考えは。

Q 必要な事だと考える。私自身5歳の子どもの親なので重要性は認識している。

Q 拠点として稲取幼稚園を活用する考えは。

A 稲取幼稚園の利活用については、幅広く住民からの意見も募りながら検討していきたい。

そのほかの質問

Q 当町の石文化を活かし、石をモチーフとしたモニュメントを公募したらどうか

A おもしろい考えなのでふるさと納税の活用方法について色々と考えていきたい



すずき なつき 議員
鈴木 勉

Q 高齢者に緊急通報システムを普及する考えは

A 古いシステムのため今の状況に合っているか検証が必要



Q 一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増える中、緊急通報システムの普及が必要と考えるが。

A 緊急通報システムは虚弱な身体状況にある高齢者のみの世帯等を対象に、自宅と消防署を固定電話回線で繋ぐものであり、現在69台のうち37台が利用されている。一方、令和4年の高齢者が約5千4百人いることを考えると、普及度が低いのではないかと感じており、その要因を探り適切な対応を。

Q 同システムを利用しているのは近隣では当町のみであり、他地域では民間と契約して同種のシステムを構築している例も見受けられる。実際かなり古いシステムでもあり、本当に町の状態に合っているのか、よりよいシステムがあるのかを検証し、高齢者が本当に安心して暮らせる環境づくりを推進していきたい。



家庭に設置された緊急通報システム

Q 凶つていきたい。高齢者にとっては救急車を呼ぶのもひと苦労である。同システムはポタンひとつで連絡がいく安心なシステムであるが、存在を知らない方も多い。より多くの方に活用いただきたいと考えるが。

A 同システムを利用しているのは近隣では当町のみであり、他地域では民間と契約して同種のシステムを構築している例も見受けられる。実際かなり古いシステムでもあり、本当に町の状態に合っているのか、よりよいシステムがあるのかを検証し、高齢者が本当に安心して暮らせる環境づくりを推進していきたい。

そのほかの質問

Q 誘客宣伝事業で配布するチラシにQRコードの活用はされているか

A ほとんどのチラシで活用されており、各団体のHPを経由し必要な観光情報が得られる

Q 子どもによる町づくりを推進できないか

A 学校と相談しながら進めていきたい



地域社会の一員である子ども達は町の宝であり未来への希望!

Q 子ども達が町をより良くするための提案をし、まちづくりの活動をするのは大人も巻き込み、地域が活性化すると考えるが。

A 子ども達は自己肯定感が磨かれ、町を考えるきっかけとなる。大人も、子どもを地域社会の一員



あいはら きょうこ 議員
栗原 京子

Q 子ども基本法では子ども達の意見を施策に反映するよう示されているが、町の考えは。

A ふるさとを引き継いでいくのは子ども達なので、国の流れをつかむことは重要と考える。

Q 現行の提案型まちづくり補助金に子ども部門を設けてはどうか。

A 可能と考えるが、協力を仰ぐ教師の負担が大きくなる懸念がある。

Q 子ども議会など子ども意見の聞くことはどうか。

A (教育長)総合的な学習で行っている地域を学ぶ活動の発表の場としてならば、校長会は大賛成である。

A (町長)学校と相談しながら進めていきたい。

Q 伊豆をアサギマダラの半島にするお考えは

A 伊豆全体の中でどう考えるか慎重な検討が必要



アサギマダラの飛来 (松崎町)

Q 近年、チョウの一種アサギマダラの里を創ろうという構想があるのをご存じか。

A 個々の動きとして河津、伊東、下田や松崎での事例等は伊豆新聞で拝見した。

Q フジバカマの花に飛来するので、町内の花壇

A 誰が植え、耕し、管理するか、整備にかかる労力をどうするかが難しい。当面は個々の人で、できることをしていただくのがよいのではと考える。

Q 個人で行うにも情報が無いので町に相談窓口を設ける考えは。

A 民間でできることは民間で先行していただくのが望ましい。



ふじい ひろあき 議員
藤井 廣明

そのほかの質問

Q 遊休農地の再生に「農業塾」を立ち上げてはいる

A 県と連携した対策をとって

や空き地、細野高原の駐車場の一角などに植栽してはどうか。

A 生態系への影響の有無など確認の必要がある。また、細野高原の保全と活用の中で、どう位置付けるかも整理しなければならぬ。

Q 既にこの事業を立ち上げ誘客につなげているホテルもあるが。



山田 直志 議員

Q 観光産業の磨き上げとは

A 埋もれている魅力を地域の新しい魅力にする



Q 所信表明の中で、「観光産業の更なる磨き上げ、儲かる一次産業の実現」としているが、どのように進めるのか。
A 町政運営の重要な考案方のひとつで、すでにあるものをもう一度見直し、埋もれている魅力を発掘して、最大限活用していく事である。



細野高原の磨き上げについても再検討を

Q 観光産業においては、地域の眠っている観光資源を磨き上げ、地域の魅力を高めることと、新型コロナウイルス感染症対策を進め、安心安全な旅を確立することが必要となる。
A 観光産業においては、地域の眠っている観光資源を磨き上げ、地域の魅力を高めることと、新型コロナウイルス感染症対策を進め、安心安全な旅を確立することが必要となる。
Q ふるさと納税の大幅な増加や細野高原の活用についての新たな模索などの動きが出ている。これを広げること、観光協会や産業団体連絡会などにも町長の考えを伝える必要だが、関連する各団体と話し合いを行ったか。
A この問題について直接個別に話し合っていない。調整しきれていないが必要な事だと思っている。

Q 特定地域づくり組合の導入の検討は

A 今後、検討を進めていきたい



Q 町内の産業を見ると、各業種に労働力不足の懸念がある。「特定地域づくり事業協同組合」は、自治体が係わる労働者派遣事業として人口減少地域で進めているが、町の検討はいかがか。
A 根底にある人材のシニアリングの考え方は今後なくてはならないものであり、検討は進めたい。役場のマンパワー不足を補うためにもワークシェアなども念頭にしながら入れている。A まずは会員をいかに増やすかから進めていきたい。



多様な人材の確保を期待したいシルバー人材センター

Q 地域おこし協力隊を活用する事例も見られるが。
A そういったことも含めしっかりと検討したい。
Q 介護施設の人手不足は深刻で、全国で見ると廃業に追い込まれているところも多い。シルバー人材センターに研修を受けていただき、業務補助を担えないか。
A 会員数が51名と少なく、事業を広げるのは難しいのが現状だ。
Q 自治体の中には介護事業に人材を派遣しているところもある。初任者研修への助成など教育に力を入れることも必要では。
A まずは会員をいかに増やすかから進めていきたい。

そのほかの質問

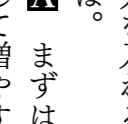
Q 学校給食の500円補助は当面継続していくか



須佐 衛 議員

Q 活用が少ない町有施設の今後は

A 公共の福祉に反しないよう、処分も検討する



Q 活用が少ない町有施設の今後は
A 公共の福祉に反しないよう、処分も検討する
Eの管理運営契約は。EASTDOC、ダイロクキッチンはNPO法人ローカルデザインネットワークに、MORIEは湊庵(solian)に用途制限を設け、貸出を行っている。NPO法人に町づくりの観点から地方地域の活性化を、湊庵は空き家のリノベーション開発などを目的としている。またMORIEについては3年ごとに再活用し始めたけやき公園
Q EASTDOC、ダイロクキッチンはNPO法人ローカルデザインネットワークに、MORIEは湊庵(solian)に用途制限を設け、貸出を行っている。NPO法人に町づくりの観点から地方地域の活性化を、湊庵は空き家のリノベーション開発などを目的としている。またMORIEについては3年ごとに再活用し始めたけやき公園
Q 市民農園において団体への無償貸出は今後も行っていくのか。
A ふるさと学級、健康づくり課の利用は公共性の高い団体と考えている。無償貸出について合理性がある。

そのほかの質問

Q 稲取地区の新規井戸整備の進捗は
A 施設工事が完了し、令和6年度供用開始になる



内山 慎一 議員

Q 親子が遊び集える場を考えているか

A 今すぐにはできないが考えている



Q 町内の児童公園の多くの遊具が撤去され、遊びの場・集いの場としての機能が失われている。雨風が防げ、あらゆる子育て世代の親子が遊び集える常設の施設整備計画を持っているか。
A 現時点において計画はないが非常に重要と考えている。やりたい気持ちもあるし、しっかりと検討していきたい。例えば、子育て世代のみならず若男女が集えるような拠点というのでもいいかも



役場に設置されたキッズスペース

Q 施設は観光地の特性に沿った内容で、休日・夜の増加のため無料化などの取り組みはできないか。
A ファミリーサポートセンター等、既存制度の活用も図りつつ、あらゆる選択肢を排除せず検討を進めたい。
Q 今年度末に閉鎖される稲取幼稚園の利活用が考えられるかがか。
A 稲取幼稚園の利活用は現在役場内での検討を進めているが、今後住民を交えて協議していきたい。

そのほかの質問

Q 商店街の空き店舗対策は
A 新たなビジョンの構築と店舗改修費、家賃の支援で



笠井 政明 議員

Q 活用が少ない町有施設の今後は

A 公共の福祉に反しないよう、処分も検討する



Q EASTDOC、ダイロクキッチンはNPO法人ローカルデザインネットワークに、MORIEは湊庵(solian)に用途制限を設け、貸出を行っている。NPO法人に町づくりの観点から地方地域の活性化を、湊庵は空き家のリノベーション開発などを目的としている。またMORIEについては3年ごとに再活用し始めたけやき公園
Q EASTDOC、ダイロクキッチンはNPO法人ローカルデザインネットワークに、MORIEは湊庵(solian)に用途制限を設け、貸出を行っている。NPO法人に町づくりの観点から地方地域の活性化を、湊庵は空き家のリノベーション開発などを目的としている。またMORIEについては3年ごとに再活用し始めたけやき公園
Q 市民農園において団体への無償貸出は今後も行っていくのか。
A ふるさと学級、健康づくり課の利用は公共性の高い団体と考えている。無償貸出について合理性がある。

そのほかの質問

Q 学校教育整備委員会からの答申提出後のスケジュールは
A 総合教育会議にて答申に基づき、方向性を決め、早急に進めていきたい。

四国高知・香川へ視察研修に



高知県高知市 「こうちこどもファンド事業」

自分達の街をより良くしたいという子どもの考えを、大人サポーターのアドバイスを受けながら文書にし、子ども審査員の審査を受ける。承認された提案に市が助成金を交付してまちづくりの活動を行う。子どもの頑張る姿を見て大人や地域が触発されて活性化に繋がっている。

香川県高松市 高齢者居場所づくり事業

歩いていける範囲内で高齢者がグループを作り、趣味やおしゃべりなどを月2回以上開催する。10人以上のグループであること、活動の際は体操など介護予防に取り組むこと等を条件に市が助成金を交付。要望があれば、市の負担で健康づくりの講師を派遣したり、オンラインで健康体操をしたり、子どもとの交流があったりと内容は多様。介護認定数が1/6に減るなどの効果が見られる。



その他の委員会活動



防災対策について区長会と意見交換を行いました

11月7日に避難所の開設と運営についての現状や課題について各区長の意見を伺いました。

出された意見は、今後の委員会活動に役立てて行きたいと考えます。

健康づくり・介護事業に関して担当課と意見交換を行いました

視察した高松市の事業について担当課に概要説明とヒアリングを行いました。

当町での取り組みについての検討や同じような事業ができないかなど活発な意見交換会となりました。



移住者を対象に実施したアンケートの結果を集約し、町長へ「要望書」という形で声を届けました

※ご協力いただいた皆様 ありがとうございます
アンケートを基にした
町への要望

委員会報告書については東伊豆町ホームページにて掲載
<https://www.town.higashiizu.shizuoka.jp/>
ホーム > 町政・議会 > 議会 > 各常任委員会の取り組み



アンケート結果はこちらから

1. 住民登録時に、移住者への支援制度が十分伝わるように配慮すること。
2. 交流カフェや情報交換ルームなど、移住者と地元住民が顔を合わせる場所の構築を。また、情報格差が生じないよう広報の徹底を。
3. マンションや別荘の居住者にも配慮した交通体系の整備を。
4. 子育て世代に響く“定住策”をより一層進めること。



町長へ要望書を提出

山梨県・長野県へ3年ぶりの視察研修



山梨県早川町「早川地域づくり事業協同組合」

⇒地域人口の急減に対処するための労働者派遣事業

- ・旅館業、農業、林業など複数の仕事を組み合わせ、組合員として正規雇用
- ・組合員の取り扱う農林水産物、畜産加工品等の市場開拓、共同販売・共同宣伝及び人材育成

長野県南箕輪村「定住につながる支援制度」

⇒人口1万6千人の村、移住者7割の村

- ・妊娠から出産、子育てに関するあらゆる相談ごとにワンストップで対応する南箕輪村版「ネウボラ」(出産・育児支援施設)
- ・都心への出前講座「ちょこっと農業塾」の取り組み
- ・女性の再就職をサポート「女性の就業お仕事相談」



長野県塩尻市「AI活用のオンデマンドバス」

⇒アプリで配車を予約する「のるーと」

- ・塩尻 MaaS プロジェクトが取り組む「のるーと」は、民間から出資を受けた会社と塩尻市が共同で開始
- ・利用客のリクエストに応じてルートを設定
- ・スマホのアプリで予約、1回の運賃200円

かがやく まちのひと

Vol.12

今回は町の健康教室に参加し、健康で元気な方々取材しました。教室では豊富な知識を持ったスタッフがパーソナルトレーナーのように、蓄積された参加者のデータから一人一人の体調に応じた運動や食事をアドバイスしています。



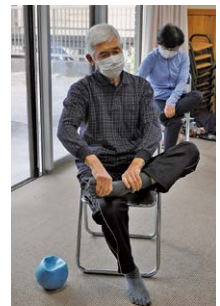
教室で最年長の駒木根さん



体年齢は62歳の野崎さん

【稲取りラクゼーション教室】
駒木根末江さん 91歳
—軽い運動のようでした
がきつくはないですか。
肩だけは痛めているが、
他はできませんでした。
—この教室に通ってみて
いかがですか。
10年以上参加していま
す。姿勢がいいでしょう。
講師の先生やスタッフ、
参加者の皆さんの協力で
通えています。身体の不
調にもアドバイスをもら
えて、指示どおりに身体
を動かしたら痛みもとれ
ました。
—なぜ通っているのです
か。
自分のため家族のため
です。元気ならやりたい
ことができるし、家族に

迷惑をかけたくないです
からね。
【北川オリジナルフィットネス教室】
野崎元廣さん 76歳
—日頃から健康には気を
つけていますか。
持病もあるので食事制
限などはしています。教
室で教わった運動は家
でもやります。
—教室に通って身体の変
化はどうですか。
体重、血圧、体脂肪、
骨密度などを毎回測って
います。いろいろアドバ
イスももらえるので、身
体の不具合がよく分かる
ようになりました。
—健康教室には男性の参
加が少ないですが、男性
の皆さんへ一言お願いし
ます。
仲間と参加すると一緒
に励ましながら頑張れる
のでいいと思います。鳥
澤さんとは最初からずつ
と一緒に参加しています。



体年齢は63歳の鳥澤さん

鳥澤孝雄さん 80歳
—日頃から健康には気を
つけていますか。
数年前まで旅館を営ん
でいたので特に気にして
いませんでしたが、今は
教室の運動に取り組み、
気をつけています。
—教室に通って生活の変
化はどうですか。
身体の好不調が分かる
ようになっています。
—健康も好き嫌いはありま
すが、野菜を食べるとか、
塩分が多いとしようゆを
酢にしたり、お新香も量
を減らすなど気を遣うよ
うになりました。
お詫びと訂正
議会だより10月号
のP8楠山議員の一般
質問の記事で誤りが
ありましたので、下記
の通り訂正しお詫び
いたします。
【誤】雑誌のリサイク
ルの取り組みの推進
のお考えは
【正】雑誌のリサイク
ルの取り組みの推進
のお考えは

議会広報編集委員会

委員長	笠井政明
副委員長	栗原京子
委員	稲葉義仁
委員	西塚孝男
委員	藤井廣明
委員	山田直志

編集後記
あけましておめでと
うございます。昨年は
岩井新町長が就任し、
議会も今まで以上にコ
ミュニケーションを図
りながら進めてきた一年で
した。
また、新型コロナウイルス
流行から三年目となり経
済活動など、徐々に日常に
戻りつつありましたが、ま
だまだ新型コロナウイルス
流行前の水準にはほど遠い
状況が続いています。過去
の状況に戻るのではなく、
今の現状をしっかりと理解
し、先を見据えた提案など、
議会としてできることを今
年もしっかりと行っていきた
いと思います。
(笠井)